

タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して

日 時 平成27年5月9日(土) 午前10時30分～正午
場 所 富士見台会館 (富士見台自治会)
天 気 くもり
参加者 37人



主な意見等

参加者 選挙についてお伺いしたいのですが、選挙前は立候補の顔入りのチラシを配っていたりしていますが、結果については周知が不十分でわかりづらいです。少なくとも市の掲示板に掲示してほしいです。他の市町村の中には、開票の次の日に結果をチラシで配っているところもあります。「6月号の広報に載る」と言われても一カ月も先では意味がないと思います。

市 長 広報6月号とホームページへの掲載は決まっておりますが、広報だと印刷に時間がかかり遅いということもあります。掲示板への掲載といった方法が可能かどうか調べて、検討したいと思います。

参加者 地区の防災についてお伺いします。富士見台地区はほとんどが住宅街密集地であり、火事になった時になかなか防災拠点に避難できないです。この点を、訓練のときに考えていただけるとありがたいです。

市 長 市内には住宅密集地が何カ所もあり、おっしゃるとおりその辺が課題です。規模の大きな火災の場合は周辺の温度が高くなりすぎて

校庭などの場所も安全ではないかもしれません。一番大事なのが自助、次が共助、最後に公助がきます。6百数十人の市職員が11万人の市民をすべて救出することは不可能です。地域の人たちが地域の特性を考慮に入れた防災対策を考える機会を作っていきたいと考えます。貴重なご意見ありがとうございました。

参加者　　この集会所は築46年経っています。鉄筋造りだが、耐震はやっていません。屋根の交換などの維持にも大変お金がかかっています。自治会もお金がなくて困っています。この集会所がなくなったら富士見台のコミュニティーがなくなってしまいます。また、この集会所は消防法により防災管理者を置かなければならない施設ですが、ある方にボランティアで管理者を務めてもらっているのが現状です。ボランティアの方に防災管理者を任せるのが適切なのでしょうか。下手をすると刑事責任にも問われます。また研修や訓練もやらなければいけません。市としてもこういう設備について考えてほしいです。また、ほかにもこういった設備はあるのでしょうか。

市　長　　そのあたりはまず自治会の中でご検討いただければと思います。また、市としても他の施設の状況も見ながら、市としても対応策を考えていきたいと思います。

参加者　　「あったかいまちふじみ野」というスローガンについてわかりやすく教えてください。

市　長　　今は人間関係が残念ながら昔に比べて希薄になってしまっています。極論ではありますが、これを改善し、まちにすむ人が一つの家族のようなあったかいまちにしたい。これが私の目指す姿です。

参加者　　具体的に「あったかいまちふじみ野」の構築に向けて何をしているのですか。例えば、新田にある芝生公園には遊具もなく、また大きな看板がありボール遊びを規制しています。規制せずともフェンスを高くするとかの軽微な対策をし、子どもたちが遊ぶことができるようにしてほしいです。校庭から蹴り出されたサッカーボールが原因で交通事故が起きた事件の裁判などもニュースになっていまし

たが、学校でも遊べなくなり、広場でも遊べない。責任を負いたくないという大人の都合で、子どもが活力を持って遊べる場所が失われてしまっています。誰かが責任を取り、このような状況を改善していく必要があるのではないのでしょうか。

市長 そんな世の中になってしまった気がします。どうやって子どもたちをのびのび遊ばせればいいのか私自身も疑問です。ボール遊びをさせたい親御さんがいれば、させたくない親御さんもいます。すぐに結論は出せませんが、例えば学校の校庭は子どもたちがボール遊びをできるようにもっと開放するとかこれから先を考えるとみんな考えていかなければならないと思います。私も思いは質問者様と同じです。

参加者 光が丘という町に仕事でよく行きますが、住民は町から出たがりません。その理由について、行ってみて感じたのは車道と歩道が完全に立体交差されていて分離しているということです。駅を降りて歩いてみると人が歩くところに車が通っていません。ですので、子どもたちが自転車に乗っていたり、歩道でボールを使って遊んでいたりをよく見かけます。こういった環境が子育てに魅力なのではないのでしょうか。

市長 そうですね。それも一つのまちの魅力だと思います。

参加者 逆に言うと市民の方々がこのような環境を守るために様々な努力をしています。何かのメリットを受けるためには何かをやらなければいけません。何かあったら誰かに責任を押し付けるという発想が一方的すぎてあったかいまちにならないのではないかと思います。

参加者 ふじみ野市には、南から北に走る広い道路がほとんどありません。緊急自動車の通行に不便です。将来的な案はあるのでしょうか。

市長 かつて線引きされた都市計画道路の予定はありますが、新しい予定はありません。

参加者 　　ただ、この細い道に緊急自動車がくると慣れない人はたじろいでしまっています。何か、将来的に市政として方向性を持っていただきたいです。

市 長 　　現在、昭和初期の都市計画道路も着手できないところもあります。長い目で見ていくと、富士見台地域も含め、住宅地の世代交代も今が過渡期です。立ち退きの可能性もあります。ご意見を参考にしながら長い目で見て考えていきたいと思えます。

参加者 　　上福岡図書館前の交差点について、五差路になっており構造が複雑なため、直進の車と右折の車が接触するなどの事故もたびたび起こっており危険です。

市 長 　　ご指摘の交差点の危険性は私も認識しております。検証してみたいと思えます。

参加者 　　市長の説明の中で排水管についてダウンサイジングとありました。水の量について災害時に、何日間の余力があるのですか。災害をどの程度の規模で見ているのですか。

市 長 　　今のままの老朽管の方が危ないです。細くしても圧力的には変わらないので、水道管がやられなければ給水量については災害時も大丈夫です。全消防車両が一斉に放水したとしても、圧力的にも量的にも問題はありません。

参加者 　　市長の説明を聞いていて感じたことですが、庁舎を建てなおすときの予算について、「市の負担が少ないから大丈夫」という説明がありました。私たちはふじみ野市民であるとともに日本国民です。国に負担を求めるということは、結局自分たちが負担をするということです。国から持ってくる発想では名目は変わっても私たちの負担は増える一方です。お金をかけて物を作るという構造から、無駄を省いていくとか必要ないものを廃止するとかいう形で使うお金を減らしていかないと僕らの幸せはないと思えます。

市長 本当にありがたいご意見です。「国からお金来るといったって私たちが納めた税金ではないですか」という意見はまさにその通りです。私たちは合併特例法という特例の中でやっています。特例債も上限金額が決まっていて、それ以上は使えません。市町村合併をしたところは、施設の集約の問題を引きずっていくのでそのための費用負担として特例債などを受けています。

国に学校の環境改善の交付金の申請をしていましたが、大規模改修2校とトイレ改修2校は不採択になりました。文部科学省の予算がないというのが理由です。文部科学省は申請をある一定の基準で切ってきました。その基準とは「安全確保のための耐震補強の工事」を優先するというものです。ふじみ野市は、この工事を他のことに手をつけずに前倒しで頑張ってきて、すべての耐震補強は終わっています。全国の自治体が合理化して税金を必要などころにつけていくのが必要だと思います。質問者様のような考え方の人がもっと増えていただければと思います。

また、皆様のごみの分別のおかげでごみの減量は県内ではトップクラスです。皆さんの力で大井清掃センターを止めて二億のお金を生み出しました。例えば公園の掃除などについても皆さんが草むしりをしていただければその分のお金を他に回せます。道路も公園も市のものは市民の皆さんの財産です。子どもたちのために市民の皆様と今後について一緒に考えていきたいと思っています。それをやることで持続可能な街になっていくと思います。

参加者 超高齢社会になっているので一人暮らしの方が多いいと思います。このような方々に手を差し伸べたいと思っていますが、個人情報がかんげんしくなっていて情報が入ってきません。近所にいる人たちはやはり強いと思います。周りに情報が入ってくるのが必要だと思います。

市長 ありがたいお話です。個人情報保護法が独り歩きしてしまっていると感じます。自力避難困難者リストを手上げ方式で作成しています。また、非常時には手を上げていない障がいのある方などの情報も民生委員や町会に提供するようにしています。また、災害が起こってからの提供では遅いということもあり、今防災計画の見直しの

中でどの程度まで情報を出せるのか検討しています。

参加者 5月の市報に「居住者カードの作成にご協力ください」という記事がありましたが、市としての考え方を教えていただきたいです。

市長 民生委員さんが独自にやっているもので、訪問回数の参考などになっています。

参加者 関連した質問ですが、国勢調査と民生委員さんがやろうとする「居住者カード」の内容は同じではないでしょうか。何度も同じことをやるのは無駄なので、一つにしてほしいと思います。

市長 国勢調査は法律に基づくもので、また、市役所の中で得た情報でも目的外の利用ができないという法律があります。その辺は法律の問題になりますが、国勢調査の情報は他には出せないと思います。統計的なデータとして上から地方公共団体に落ちてくることはありますが。

参加者 企業誘致の話ですが、日本無線の後はどうなるのですか。

市長 イオンタウンという会社が商業施設をつくる予定です。土地の用途が工業系になっていて、そのままではできません。一体型の開発をするためには用途変更か地区計画の作成が必要です。用途変更をしてしまい、他の通信機器メーカーの土地売却が進んで行っても困りますので、用途は工業のままで地区計画を作成し、イオンが開発するという形が望ましいと考えます。ららぽーとが出来た事を見越して開発行為をやるようです。

参加者 ららぽーとに負けない商業施設ができるのですか。

市長 勝ち負けの問題ではないと思いますが、大型店同士が商圈のリンクをしている中でやっていることだと思います。また、ああいう商業施設に行っても見るだけで買うのはインターネットという人もおり難しい問題だと思います。

むしろ、企業誘致の話では254バイパス周辺の農家の方々が後継者問題や農地面積が狭い等の理由で悩んでいます。農家の皆さまと意見交換をしておりますが、将来的に水田を残していくことの重要性も踏まえながら、企業誘致をして雇用促進や自主財源の確保を図っていければとも考えています。

参加者 防犯カメラについて質問させていただきます。商店街など主要なところには設置してあるようですが、防犯カメラの設置（通学路など）をどう考えているのか教えていただきたいです。市が補助を出したりして中心となってやるのでしょうか。また、商店街などが自主的にやるのでしょうか。

市長 ふじみ野市では駅の周辺の繁華街、商店街にカメラを設置しました。これは国の経済産業省の補助金を活用してやったものです。商店街に対する補助ですので、商店街の負担分を市で補助しました。しかし、消費税分の5%は商店街で負担してもらい、また、維持管理も商店街がやっています。通学路に防犯カメラを設置したいというご意見につきましては、その時にどうやってつけるかが課題だと思います。「単に市役所にやってください」ではなく例えばPTAの中で50円でも負担し合って、それに市の補助を追加してとか何らかの形をとり、みんなで負担してやっていければいいなという思いがあります。また、市では、試行ではありますが自動販売機にカメラが付いているものを公園など市の施設に置いています。市の負担も市民の皆さまの負担も少なくできますので、こういう方法も考えながら進めていきたいと思えます。子どもたちの通学の安全や、治安を良くしていくために、これから考えていかなければならない課題の一つだと思います。